

第3次苫小牧市総合防犯計画（素案）【概要版】

令和6年11月 苫小牧市 市民生活部 市民生活課

はじめに

第3次苫小牧市総合防犯計画（素案）は、第1章から第4章までの27ページで構成する。

第1章 計画の策定にあたって

第2章 犯罪の現状と課題

第3章 施策の体系と主な取組

第4章 計画の達成指標・活動目標と進行管理

第1章 計画の策定にあたって（素案1～2ページ）

1 計画策定の趣旨

本市は、犯罪のない安全な市民生活の確保を目的に「苫小牧市防犯及び交通安全に関する条例」を施行し、平成27年と令和2年に各5カ年を期間とする「苫小牧市総合防犯計画」を策定し、防犯活動を推進している。

本市においても、子どもを対象とした声かけ事案や、主に高齢者を狙った特殊詐欺等が、身近なところで発生していることから、市民の安心感を高める取組をさらに強化・推進する必要があるため、これまでの取組を継続しながら、新たな施策を加えた第3次計画を策定する。

2 計画の目標

安全・安心で快適に暮らせるまち とまこまい

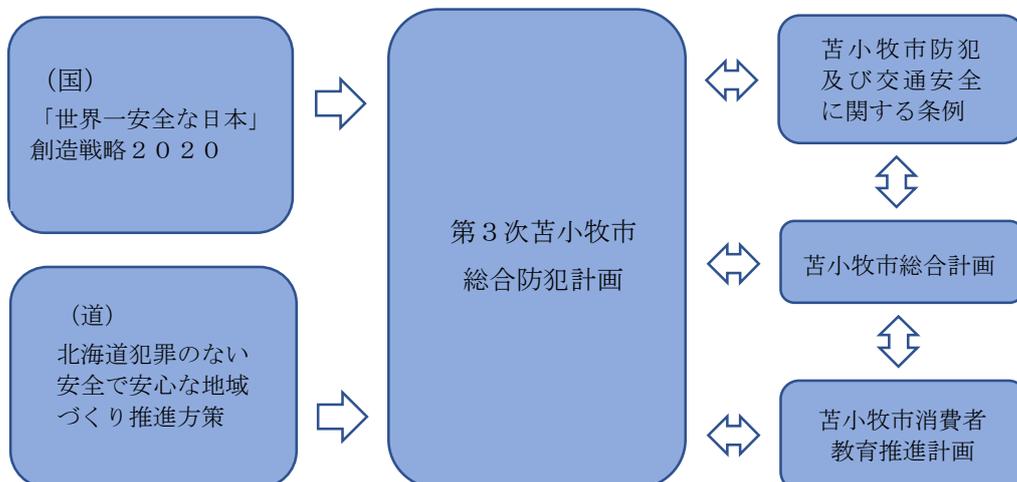
3 計画期間

令和7（2025）年度から令和11（2029）年度までの5年間

4 計画の対象

本計画の対象は、犯罪を未然に防ぐ「犯罪の予防」に関する取組とし、市民、事業者と関係機関等が、それぞれの役割と責任の下に連携して取り組む。

5 計画の位置づけ



第2章 犯罪の現状と課題（素案3～15ページ）

1 刑法犯認知件数の推移

【平成15年】 3,826件 【令和2年】 660件 【令和5年】 929件

平成15年をピークに、令和2年まで減少傾向が続いていたが、令和3年からは増加に転じている。令和2～5年にかけては、新型コロナウイルス感染症まん延防止の行動制限等が、影響したとの国の分析もあり、コロナ禍前との比較も必要。

2 犯罪の現状

■犯罪の種類 <ul style="list-style-type: none">・市内では窃盗犯が最も多い・窃盗犯の約3割が自転車盗	■交番（派出所）別刑法犯認知件数 <ul style="list-style-type: none">・令和5年は糸井、美園、木場、駅前、沼ノ端北の交番で件数が多い
■子どもに対する声かけ事案など <ul style="list-style-type: none">・令和4年から減少傾向・午後3～5時の登下校時と遊戯時に、発生場所は道路と公園が多い	■特殊詐欺など <ul style="list-style-type: none">・苫小牧署管内で、令和5年は4件、約1,200万円の被害が発生・SNS利用の若い世代も被害増加

3 地域防犯活動の現状

- (1) 自主防犯団体 町内会や老人クラブなど、合計76団体が活動中
(2) ながら見守りタイ！ 令和3年8月から開始

4 市民アンケート調査

- (1) 防犯に関する意識

	令和6年度	令和元年度	平成26年度
常に意識している	53.3%	44.8%	34.9%
どちらかといえば意識している	39.3%	48.9%	51.9%
小 計	92.6%	93.7%	86.8%

- (2) 地域の防犯活動

- ① 地域防犯活動に関心がある市民の割合

「関心はあるが、活動に参加していない（過去に参加したことはない）」層が全体で76.8%、30歳代では83.3%を占めている。

- ② 地域防犯活動に参加する条件

「好きな時間や参加する日を選べる」、「参加の仕方がわかりやすい」と答えた市民の割合が高い。

5 安全で安心なまちづくりへの課題

課題1 防犯意識の向上

防犯についての意識を高めることは、多くの犯罪被害の防止につながることから、市民一人一人の防犯意識の向上を図る必要

課題2 地域における防犯力の向上

自主防犯団体の要といえる町内会の加入率は年々減少しており、今後もし手が不足し、地域防犯力の維持に影響が出ることを危惧

課題3 安全で安心な環境の整備

市内における犯罪の多くは、市民生活に身近なところで起こっており、不安に思う場所として「道路」や「公園」など公共の場所を挙げる割合が高い傾向にあるため、そのような場所の不安を減らせる環境整備が必要

第3章 施策の体系と主な取組（素案16～25ページ）

1 施策の体系

本計画の目標達成に向けて、今後の防犯施策を推進する際の基本的な視点や主な取組み等について、以下のとおり整理する。



※ 新規項目

第4章 計画の達成指標・活動目標と進行管理（素案 26～27 ページ）

1 達成指標

計画期間における目標の達成度を評価する指標を設定

	基準値 (R1)	実績値	目標値 (R11)
【指標 1】市内における犯罪認知件数	1,028 件	929 件 (R5)	650 件
【指標 2】地域の安全についての市民満足度 (市民アンケート)	14.4%	18.6% (R6)	25%

2 活動目標

主な取組の活動を評価するため、計画最終年度までに達成する目標を設定

	現状値	目標値 (R11)
【目標 1】情報発信活動数 (市 HP・SNS、啓発活動、出前講座など)	220 回	300 回 以上
【目標 2】「ながら見守りタイ！」参加人数	1,100 人	2,000 人 以上
【目標 3】防犯カメラ設置台数	26 台	40 台 以上

3 推進体制と進行管理

(1) 進捗状況の把握と評価

計画に掲げる施策の進捗状況について
検証と評価を行い、毎年度活動目標を確認し、
進捗状況を管理しながら把握していく。



(2) 推進体制と進行管理

施策の検証結果と進捗は、
「苦小牧市防犯のまちづくり懇話会」に
報告し、懇話会委員などの意見を踏まえ、
次年度以降の施策の見直しを行うなど内容の充実を図る。

今後のスケジュールについて

令和6年12月		
令和7年1月	パブリックコメント 実施(12～1月)	第3次計画(素案)修正 (12～1月)
令和7年2月		防犯のまちづくり懇話会 第3次計画(案)審議(2月)
令和7年3月	第3次計画(案)提出 (2月議会)	第3次計画完成版の公表(3月)